

平成27年度 事 業 報 告 書

平成27年1月1日 から 平成27年12月31日まで

特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN

1. 事業実施の方針

ラオス・ルアンパバーンに建設中だった「ラオ・フレンズ小児病院」は 2015 年 2 月に開院した。

8 月に入院病棟がオープン、11 月に救急病棟での対応を開始し、24 時間の診療体制を整えることが出来、昨年末までに 1 万人以上の子どもたちの診察をした。個人の患者さんに対する訪問看護、HIV/AIDS ケア、健康予防啓蒙活動を担うモデルビレッジの 3 つの活動を展開するアウトリーチプログラムも行った。病院スタッフへの英語、医療教育も引き続き行った。

最初のプロジェクトとして開院した、アンコール小児病院の医療教育支援事業も継続して行った。

ラオ・フレンズ小児病院の麻酔専門看護師育成のため、ラオス人看護師 2 名をアンコール小児病院に派遣、研修を行っている。

ミャンマーの NGO との提携、衛生予防指導事業も継続活動した。

国内ではラオスでの新病院建設を広報し、普及啓発活動に重点を置いた。「ラオ・フレンズ小児病院」の看護師を日本に招聘し、日本での寄付活動を視察、両国間の親善交流を図った。

動画を入れる等ホームページを更新し、またニュースレターやリーフレットを作成し、これらを広く活用し更なる支援を呼びかけた。恒例となった赤尾看護師の報告会の開催や「グローバルフェス夕」に参加、また新たにラオスに特化した「ラオスフェスティバル」へ参加し病院を紹介した。

医療用品等の輸送・運搬事業も行った。その他の事業として「エイズと命」をテーマに講演を行った。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事 業 名	事 業 内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従 事 者 人 数	受 益 対 象 者 の 範 囲 及 び 人 数	支 出 額 (千円)
医療教育 支援事業	医療従事者への教育プログラムの提供や、食品衛生改善の指導をした。	月、20日間	アンコール 小児病院	95人	カンボジア医療従事者約600人	26,182
地域医療 支援事業	保健センターへの支援と、適切な医療を受けられない地域へ支援をした。	1月から12月まで 随時	カンボジア・シェムリアップ、他地域	500人	各地区計、108,356人	7,184
医療施設 運営事業	「ラオ・フレンズ小児病院」の運営、医療教育事業を行う	1月から 12月まで	ラオ・フレンズ 小児病院	60人	ルアンパバーン地区の子供、約1万人	72,620
医療施設 建設事業	「ラオ・フレンズ小児病院」を建設、27 年 2 月に開院した。	2月完成。	ラオ・フレンズ 小児病院	40人	ラオス、ルアンパバーン地区	11,839
派遣・ 教育事業	小児病院に専門家を派遣し、また同病院のスタッフを日本に招聘した。	1月から 12月まで。	ラオ・フレンズ 小児病院、東京。	15人	ラオ・フレンズ小児病院スタッフ	856
衛生予防 指導事業	適切な医療を受けることが困難な地域で衛生予防の指導をした。	1月から2月。 7月から12月まで。	ミャンマー ヤンゴン地区	10人	ミャンマー・ヤンゴン地区の約3,000人	1,465
機材・薬品 運搬事業	寄贈された物品や薬品、備品の輸送手配や、運搬をした。	随時	法人事務所、他	10人	医療従事者と患者の不特定多数	19
その他の 事業	青森県の中学校で、エイズと命をテーマに講演をした。	12月	青森・五所川原第一中学校	2人	260人	216
普及啓発 事業	HP やリーフレット、ニュースレターを活用、イベントを開催し広報に努めた。	随時	法人事務所、他	20人	寄付者、関係者、参加者約8,000人	3,537